

**製品名: GCS- $\alpha$ -1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11374**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	77kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GUCY1A3
別名	GUCY1A3; GUC1A3; GUCSA3; GUCY1A1; Guanylate cyclase soluble subunit alpha-3; GCS-alpha-3; GCS-alpha-1; Soluble guanylate cyclase large subunit
遺伝子 ID	2982.0
SwissProt ID	Q02108
免疫原	抗血清はヒト GCS- $\alpha$ -1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 374-423

**背景**

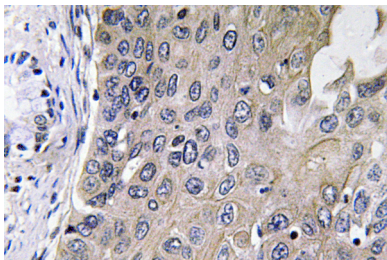
可溶性グアニル酸シクラーゼは、GTP から 3',5'-サイクリック GMP およびピロリン酸への変換を触媒するヘテロ二量体タンパク質で

す。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、この複合体の $\alpha$ サブユニットであり、 $\beta$ サブユニットと相互作用してグアニル酸シクラーゼ酵素を形成し、一酸化窒素によって活性化されます。この遺伝子には、いくつかの異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012年1月],触媒活性:GTP = 3',5'-環状 GMP + ニリン酸。、酵素調節:マグネシウムまたはマンガンイオンの存在下で一酸化窒素によって活性化される。、その他:グアニル酸シクラーゼには、可溶性型と膜結合受容体型の2種類がある。、類似性:アデニル酸シクラーゼクラス 4/グアニル酸シクラーゼファミリーに属する。、類似性:1つのグアニル酸シクラーゼドメインを含む。、サブユニット: $\alpha$ 鎖と $\beta$ 鎖のヘテロ二量体。、

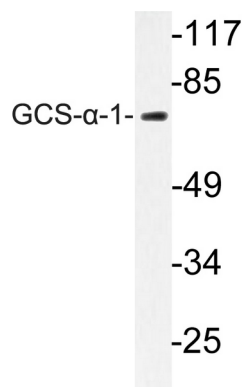
## 研究分野

プリン代謝;血管平滑筋収縮;ギャップ結合;長期抑制;

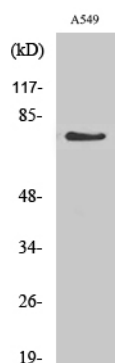
## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における GCS- $\alpha$ -1 抗体の免疫組織化学分析。



GCS- $\alpha$ -1 抗体を使用した A549 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。



GCS- $\alpha$ -1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウエスタンブロット解析